

臨床福祉専門学校
理学療法学科（昼間部）平成 27 年度 第二回教育課程編成委員会 議事録

日時：平成 28 年 2 月 23 日（火） 18：00～18：35

場所：臨床福祉専門学校 3F 会議室

出席委員及び所属

中村 岳雪（東京都理学療法士協会 理事）

下河辺 雅也（山田記念病院 技師長）

水落 太郎（松井病院 リハビリテーション科主任）

石垣 栄司（臨床福祉専門学校 理学療法学科学科長）

吉葉 則和（臨床福祉専門学校 理学療法学科副学科長）

萬崎 保志（臨床福祉専門学校 事務部長）

樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 教務課 主任）

1. 実習に係る前委員会での検討事項について（報告）

石垣：兼ねてから本委員会より議論されていた学生の実習におけるサポート体制について、昨年度に「入学早期の施設見学」「見学実習後のPTとの触れ合い会」を実施した。前委員会において、これに加えて「評価実習後の触れ合い会の実施」「他の医療職種との関わり」を行ったらどうかと委員より意見があり、学科で検討を行った。

「評価実習後の触れ合い会」

- ・評価実習が終わるのが3月、年度切り替えの時期であり、実質的に行うのは難しい
- ・翌年の長期治療実習が始まる前に実施するのはどうか？

「他の医療職種との関わり」

- ・過去には実績があるが、それは校舎が練馬にあり地域との連携があったからできた。
- ・現行のカリキュラムで時間がとれるか課題、かつ大多数の学生と施設との調整が困難である。

2. 意見交換

中村：通常の実習中であると、学生が聞きたい事を遠慮してしまう傾向がある。

将来の事を考えると、評価実習後にもPTと話をする機会を設けた方が良い。

他の医療職種との関わりについて、施設によっては実習中に相談員実習等を行う事があるが、全ての施設で行ってはない。（中村委員が所属する田無病院では3日程度相談員と話をする機会がある）他の医療職種の仕事の理解やPTとの位置関係を確認する場があっても良い。

下河辺：実習後の触れ合い会については、検査測定実習の後でも良いのでは？
他の医療職については介護予防について学ぶ事も必要では？

水落：実習中の限られた時間でしか多職種の方とは話す機会がない。
学生の為にはそのような時間を設ける必要があるが、在籍人数からすると現実的に難しい。

石垣：カリキュラム上、特に夜間部の学生については時間の確保が難しい。
また、接点が薄い業種に受け入れをお願いする事も現実的ではない。

吉葉：他の医療職については、それぞれの仕事の内容・PTとの関係性を講演してもらっただけでも参考になるのでは？

水落：学生を施設に向かわせるよりは現実的

石垣：現行のカリキュラムでは他の医療職に触れる機会が少ない。
例えばシンポジウム形式で講演をしてもらう事を検討したい。

吉葉：実際に現場に出る見学実習以降に行う方が成果がある。

石垣：検査測定実習の学生発表の報告会を3日程度行うが、
その3日目にシンポジウム&触れ合いができるかどうか検討したい。

下河辺：近い業種であるOT・STは呼びやすいと思う。

石垣：他の医療職との関わりと合わせて検査測定実習・評価実習・長期治療実習すべての実習の後で触れ合い会が実施できるか、再度学科で検証したい。

⇒上記の件について委員了承

(まとめ)

- ・「評価実習後の触れ合い会」については、長期治療実習前の時期での実施と評価実習以外のすべての実習において「触れ合い」の機会を設けられるか一度学科で検証する。
- ・「他の医療職との関わり」については、検査測定実習後等、時期を精査して他の医療職の方に学校に来校して頂き、講演を行ってもらっ事を一度学科で検証する。
- ・平成28年度第一回教育課程編成委員会において、上記の件を引き続き検討する。